

(116)

2 対立の基礎となるものについて。

(2) 教育問題

1 現在最も問題となっている学校の統合について。

a 分離した由来と(以前一校であったのが現在分離して二校となっている。)統合困難なる事情、即ちそれに関する両者の主張。

b 今後の課題。

2 主として教育効果の面における両者の比較考察等。

3 其の他。

2. 女性の社会的地位変革に伴う教育上の問題点の研究

○ 周関平吉 御野井田 豊信 博三 養昇
お茶の水女子大学

日本の女性の社会的地位は、新しい憲法や民法では近代の民主的なものとされた。けれども、現実の政治や経済のその後の変化は、女性が正当な社会的地位を得てよりよき社会のためにその独特な潜在力をあらわすことをひどく妨げているようにみえる。女性がその潜在力を発揮するために必要な教育の機構そのものにさまざまな矛盾が加わってきている。長い封建性に培われた伝統と文化が、また女性の生活と心理に圧力を加えている。このような事情によって、こんにちの日本女性はとくに思春期から成人にかけて、心理的にはげしい抑圧を受けていると考えられる。

わたくしたちはまず、政黨、経営者団体など、日本の政治と経済に関するパワーの所在を代表すると見られるものが、日本の女性と女性の教育をどう導いていこうとしているかを明らかにしようとした。加えて、さまざまな職場(学校、作業場、農場)における、また、それらの職場の組織である労働組合の同種の動きをとらえようとした。各種の学校に於て、学校の外部でその補助手続としてはたらいっている私塾その他に於て、どんな動きが見られるか。それと併せてこんにちの女性の心理的緊張と、その現実をとらえようとした。